

「ジョブ型研究インターンシップ」 指導教員向け共通説明会

ジョブ型研究インターンシップ推進協議会
(マッチング支援機関：株式会社アカリク)

本日の説明内容

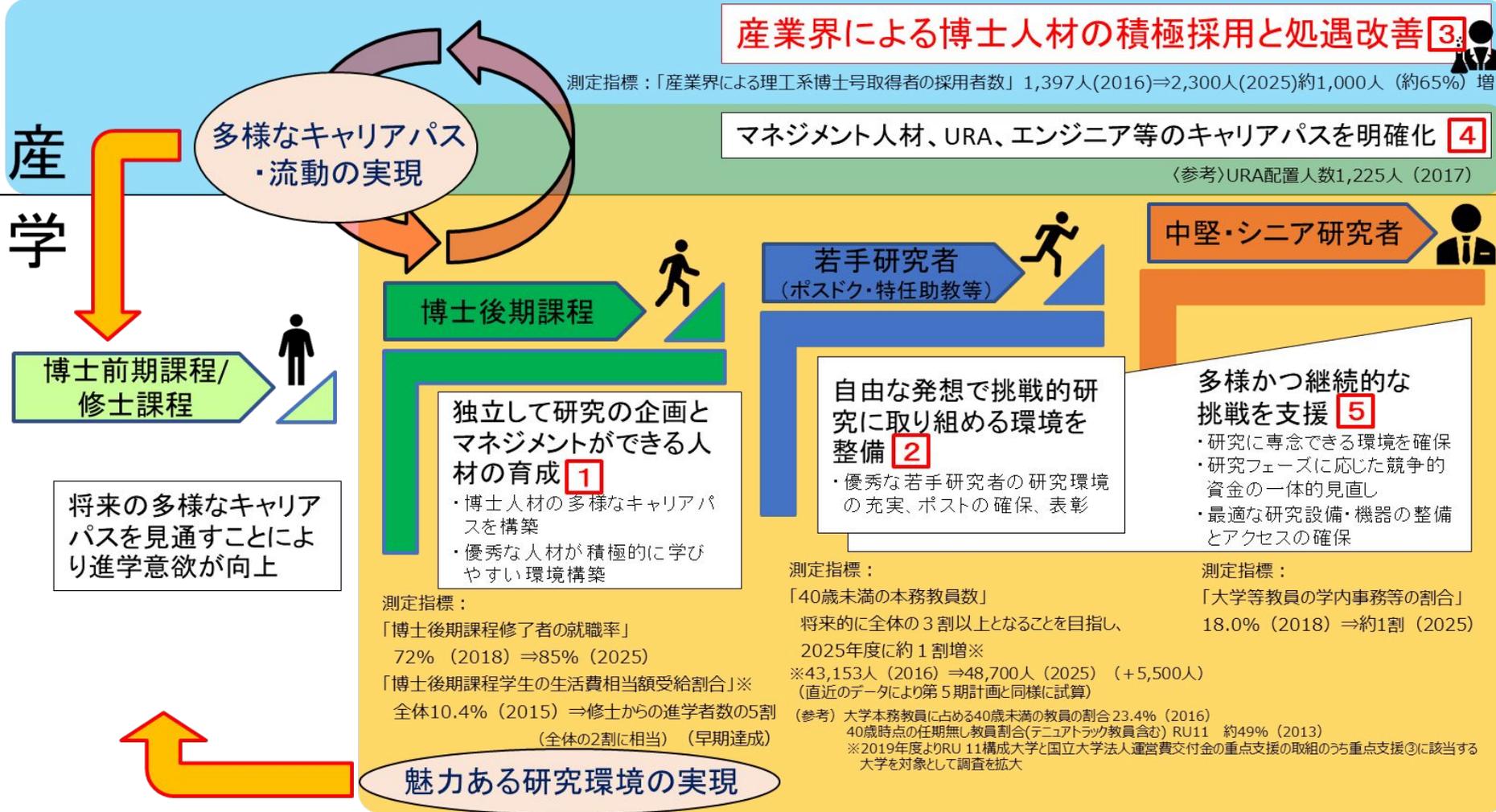
- 「ジョブ型研究インターンシップ」の背景
- 「ジョブ型研究インターンシップ」の概要
- 「ジョブ型研究インターンシップ」の進め方
- よくある質問

「ジョブ型研究インターンシップ」 の背景



背景 「研究力強化・若手研究者支援総合パッケージ」(R2.1.23 総合科学技術・イノベーション会議)より抜粋

①若手の研究環境の抜本的強化、②研究・教育活動時間の十分な確保、③研究人材の多様なキャリアパスを実現し、④学生にとって魅力ある博士課程を作り上げることで、我が国の知識集約型価値創造システムを牽引し、社会全体から求められる研究者等を生み出す好循環を実現。



第Ⅲ章 Society 5.0の採用・インターンシップの実現に向けて

1. ウィズ・コロナの採用選考活動とインターンシップ

(5) ウィズ・コロナ、さらにポスト・コロナにおける採用選考活動に向けて

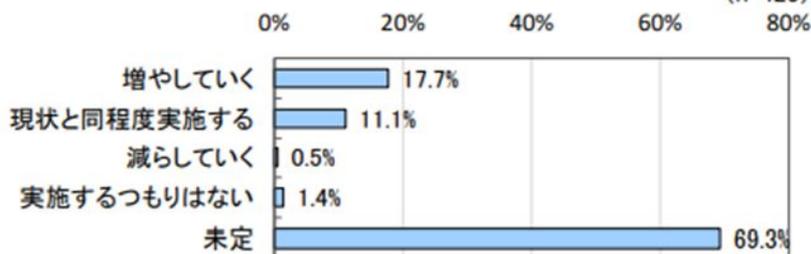
①2021年度入社対象者に対する採用選考活動の振り返りと課題

- コロナ禍で学生の不安が高まった結果、学生の就職活動が活発化した一方で、内定辞退が減少
- オンラインによる採用選考活動の課題について、改善努力が求められる
- 大学や学生からは、コロナの影響に伴う採用選考スケジュールや採用選考方法の変更について、適時適切な情報開示の強化が求める声が多い

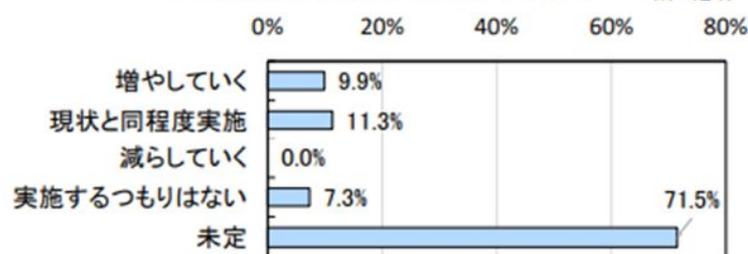
②ポスト・コロナに向けた採用選考活動の課題

- ポスト・コロナにおける企業の採用は、通年採用やジョブ型採用の拡大等、多様化・複線化が一層進展するとともに、グローバル化、オンライン化もさらに進むと予想
- 採用選考における学生と企業の考えのミスマッチの解消に向けて、企業の採用選考基準や採用選考プロセス等、自社の採用選考活動に関する情報開示を強化し、透明性向上に努めることが必要
- ジョブ型の雇用形態においては、入社後の職務の内容や範囲、処遇条件などを対象者に明確に示すことが求められる

<新卒採用における通年採用の方向性(今後5年程度)> (n=423)



<ジョブ型採用の方向性(今後5年程度)> (n=424)



「ジョブ型研究インターンシップ推進協議会」について

発足の背景

内閣府の政策「研究力強化・若手研究者支援総合パッケージ」 (令和2年1月「総合科学技術・イノベーション会議」) ※抜粋

研究力強化に求められる主な取り組み「産業界へのキャリアパス・流動の拡大等」

【主な施策】

- ・ 博士課程学生の長期有給インターンシップの単位化・選択必修化の促進（令和3年度～）

【具体的施策】

- 企業との連携による長期有給インターンシップの推進（令和3年度～）

(引用) 内閣府 総合科学技術・イノベーション会議「研究力強化・若手研究者支援総合パッケージ」P.6
<https://www8.cao.go.jp/cstp/package/wakate/wakatepackage.pdf>

経団連「Society 5.0に向けた大学教育と採用に関する考え方」 (令和2年3月「採用と大学教育の未来に関する産学協議会」報告書) ※抜粋

産学協議会10のアクションプラン< Society5.0の採用とインターンシップの実現に向けて >

【大学・企業】

4. 多様で複線的なインターンシップの目的、意義、内容、期間等について、産学及び社会的な共通認識を改めて確立する。その上で、新たな理解に基づくインターンシップを積極的に推進する。また、そのための仲介機能の強化を検討する。

- 大学院生（修士・博士）を対象とした新たなジョブ型採用につながるインターンシップの試行を推進する。

(引用) 日本経済団体連合会「採用と大学教育の未来に関する産学協議会・報告書「Society 5.0に向けた大学教育と採用に関する考え方」P.53
https://www.keidanren.or.jp/policy/2020/028_honbun.pdf

「ジョブ型研究インターンシップ推進協議会」について

協議会の設立・目的

ジョブ型研究インターンシップ推進協議会（コンソーシアム）

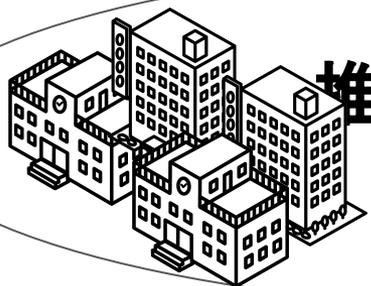
令和3年8月10日に45企業・45大学により設立。

【目的】

大学院教育の一環として行われる長期間かつ有給の研究インターンシップの普及により、**Society 5.0に相応しい雇用の在り方と高等教育が提供する学びのマッチング**を図る

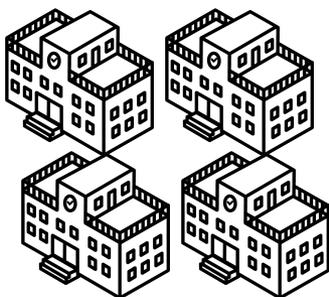
- 優秀な大学院学生が、安心して博士課程への進学を選択できる環境にあること
- 今後拡大が見込まれるジョブ型採用を見据え、産業界と大学が連携して大学院教育を行い、国際競争に耐え得る研究力に裏打ちされた実践力を養成すること
- 学業に支障をきたすことなく、学生の成長にとって有意義なインターンシップが行われ、学修成果を活用した採用活動が行われること

「ジョブ型研究インターンシップ推進協議会」について



推進協議会：
協議会の意思決定等

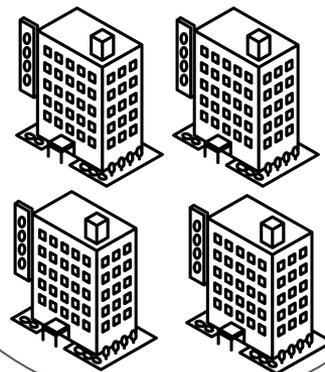
会員(大学)



ジョブ型研究
インターンシップ



会員(企業)



事務局(マッチング支援機関)：システム提供、マッチング支援、サポート

「ジョブ型研究インターンシップ推進協議会」について

運営体制

ジョブ型研究インターンシップ推進協議会（コンソーシアム）

- 運営委員会：ジョブ型研究インターンシップ推進協議会の意思決定
- 役員（令和4年1月1日から令和4年12月31日）
 - 幹事：東京大学工学系研究科
 - 副幹事：トヨタ自動車株式会社
- ワーキンググループ：必要に応じ設置され特定のテーマについて審議
 - 直近では「インターンシップ実施契約書」について意見交換
- 事務局（マッチング支援機関）：協議会の運営、マッチングに関わる業務およびサポート
 - 株式会社アカリク

【協議会 企業会員】インターンシップ募集を行う企業（機関）の一例 ※順不同・敬称略

- 製薬： 塩野義製薬、武田薬品工業、中外製薬、第一三共
- 化学・素材：旭化成、住友化学、ブリヂストン、エア・リキード・ラボラトリーズ
- 機電： 沖電気工業、京セラ、島津製作所、日立製作所、トヨタ自動車
- 情報通信： ソフトバンク、富士通、サイバーエージェント
- 金融・保険： 第一生命保険、みずほフィナンシャルグループ、三井住友海上火災保険
等、多様な業界・業種から構成

「ジョブ型研究インターンシップ」 の概要



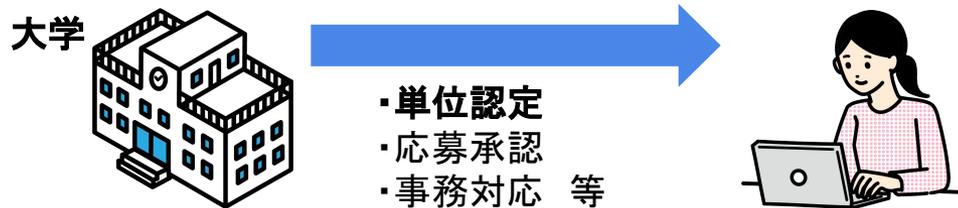
ジョブ型研究インターンシップとは

「ジョブ型研究インターンシップ」は、2022年度から本格的に開始となる、**長期・有給のインターンシップ制度**で、大学院生を対象とした**教育プログラム**です。まずは**博士後期課程**で自然科学系を対象とした研究開発関連のインターンシップが中心となります。

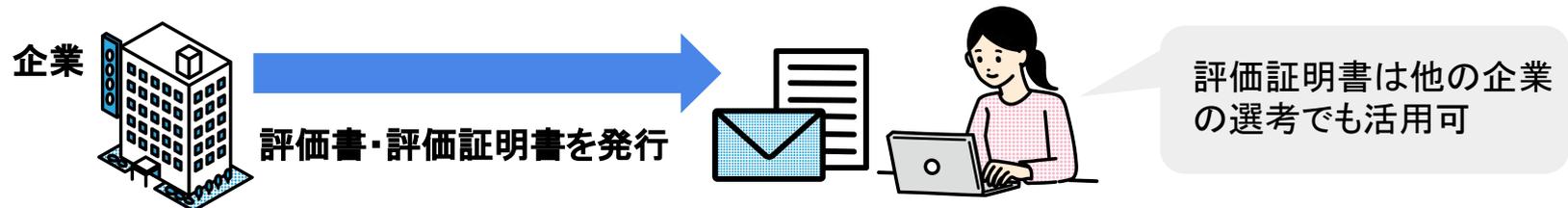
ポイント1 「雇用契約を結び、長期・有給・ジョブ型で実施」



ポイント2 「正規の教育課程として実施」



ポイント3 「インターンシップ評価が採用・就職への活用される」



(参考) ジョブ型研究インターンシップのメリット

学 生

- **進路の可能性**を広げることができる

さらに

- 自らの専門性を客観的に観ることができる
- アカデミアに進んでも生きる研究力に裏打ちをされた**実践力を涵養**できる

企 業

- **多様な大学・分野**から**企業競争力向上**に貢献できる
優秀な学生を採用できる

さらに

- ジョブ型・高学歴化を見据えポストを見直し、博士学生を含めた**新たな新卒採用システム**を構築できる
- 学生の能力を、**研究開発の加速・高度化**や**新たな領域の開拓**に活用できる

大 学

- **博士課程**のカリキュラムや修了生の質が向上し、**大学のブランド力**を強化することができる

さらに

- **博士課程への進学者増加**や**研究力の向上**が期待できる
- これまでにない学生の**新たな進路の可能性**を広げることができる

ジョブ型研究インターンシップの学生へのメリット

1 給与と単位認定が得られる

- 給与支払いが前提となり、JDに記載され、労働条件も契約にて定められます。
- **学振・その他研究支援金と併用して収入を得ることが可能**です。
- 正課の教育課程となり、インターンシップ終了後に単位認定が可能です。

2 より先端的な研究プロジェクトや実践的な業務を体験できる

- 学生・企業間で雇用契約を締結することで、秘匿情報の取り扱いや施設・情報の利用権限などを厳密に定めることができ、社員として業務に関わることができます。

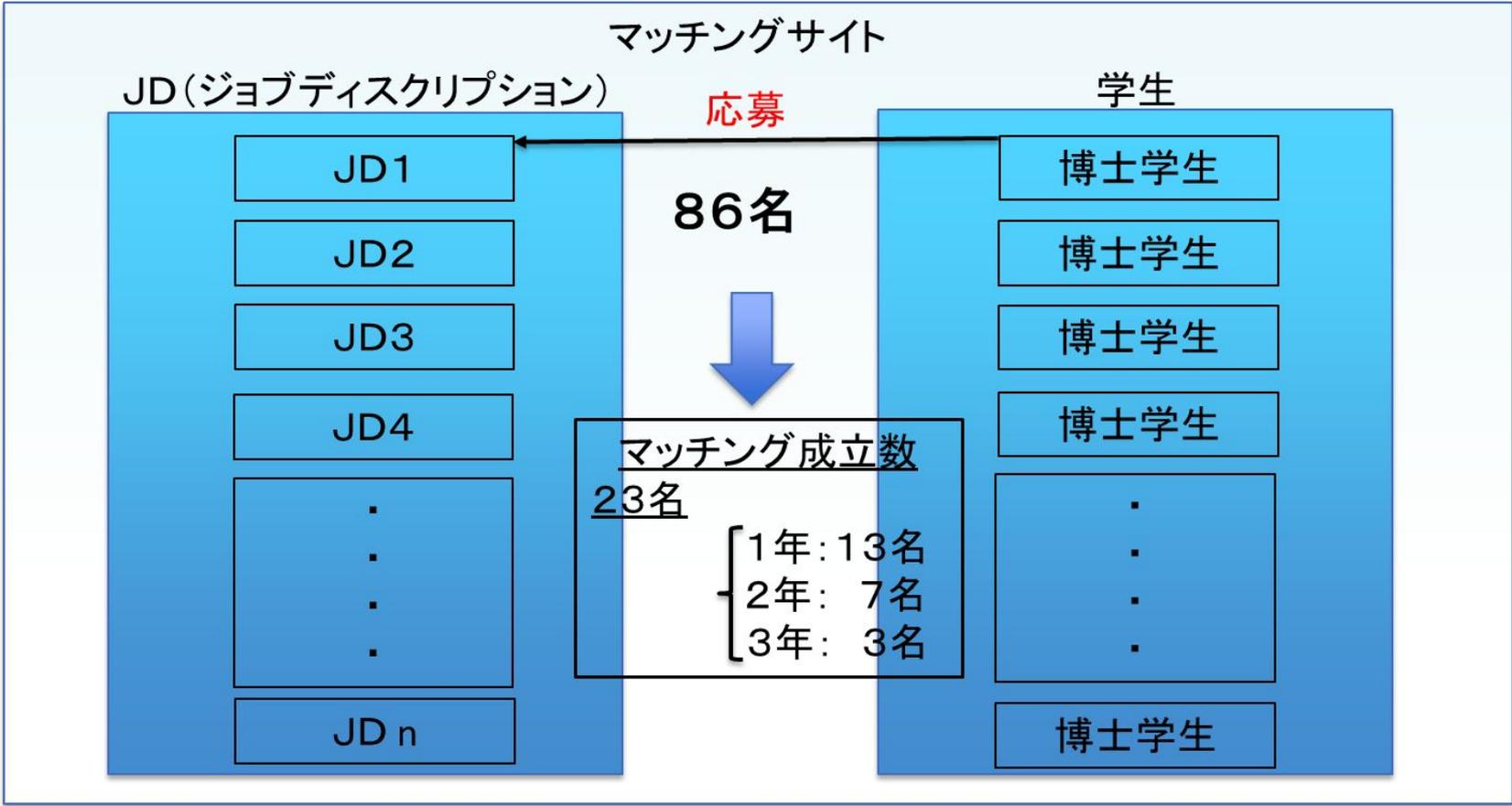
3 自らの専門性やスキルが産業界でどう役に立つか体感できる

- 普段の学習活動、研究活動で身につけた知識や技能等について、何がどう活用できるのかを学び、自身の強みの発見、専門分野に関する新たな側面の気づきを得て、これからの研究活動やキャリアに活かしてください。

4 チームで仕事を進める実践力を養成できる

- 企業や研究機関での多くの業務は異分野の研究者や他の職種とのコミュニケーションをしながら進んでいくチームワークです。博士課程の後に民間企業への就職を考える方だけでなく、教員を目指す方にもきっと役立ちます。

昨年度（2021年度トライアル）の実績



提示・募集
19社



63JD (募集人員75名)

学生情報登録



304名

〔1年: 130名
2年: 106名
3年: 39名
その他: 29名〕

ジョブ型研究インターンシップ推進協議会
会員企業48社 (※)

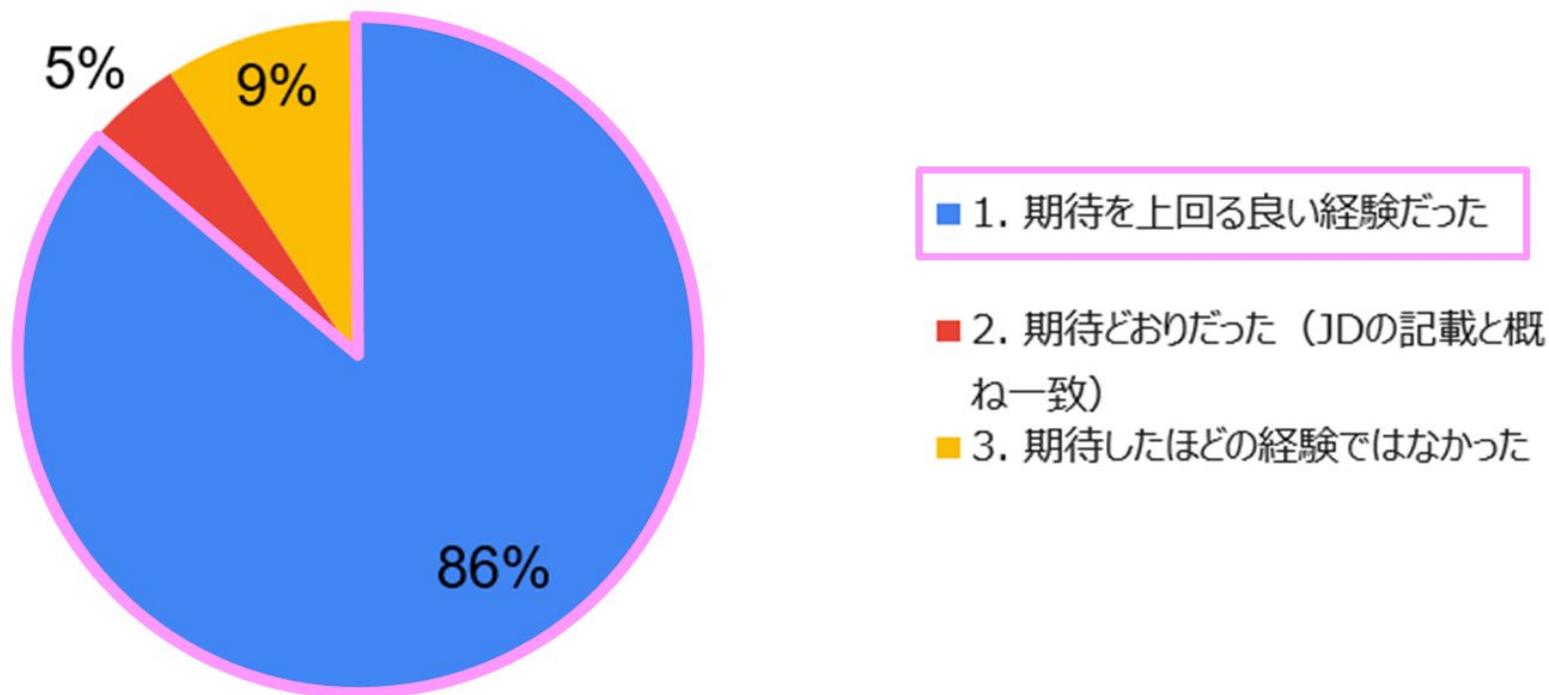
ジョブ型研究インターンシップ推進協議会
会員大学51大学 (※)

インターン参加学生へのアンケート

【質問1】 受入先でのインターンシップ全体の感想について教えてください。(n=22) *2

→ 8割以上の参加者が「期待を上回る良い経験だった」と回答

*2 : 全マッチング企業のうち、2022年4月末時点でインターンが完了した22名のみ



参加学生の声（※2021年度トライアル実施）



- 研究知識や技術を高めると同時に、企業内で働くとはどういうことかを体感できた。また、視野が広がり、大学での研究テーマの発展のさせ方など、参加前よりも柔軟な考え方が出来るようになった。
- 自分の長所と短所を外部から評価してもらえて自信が持てるようになった。研究に必要な技術や知識、考え方は、自分の専門分野以外にも繋がっていることがわかった。

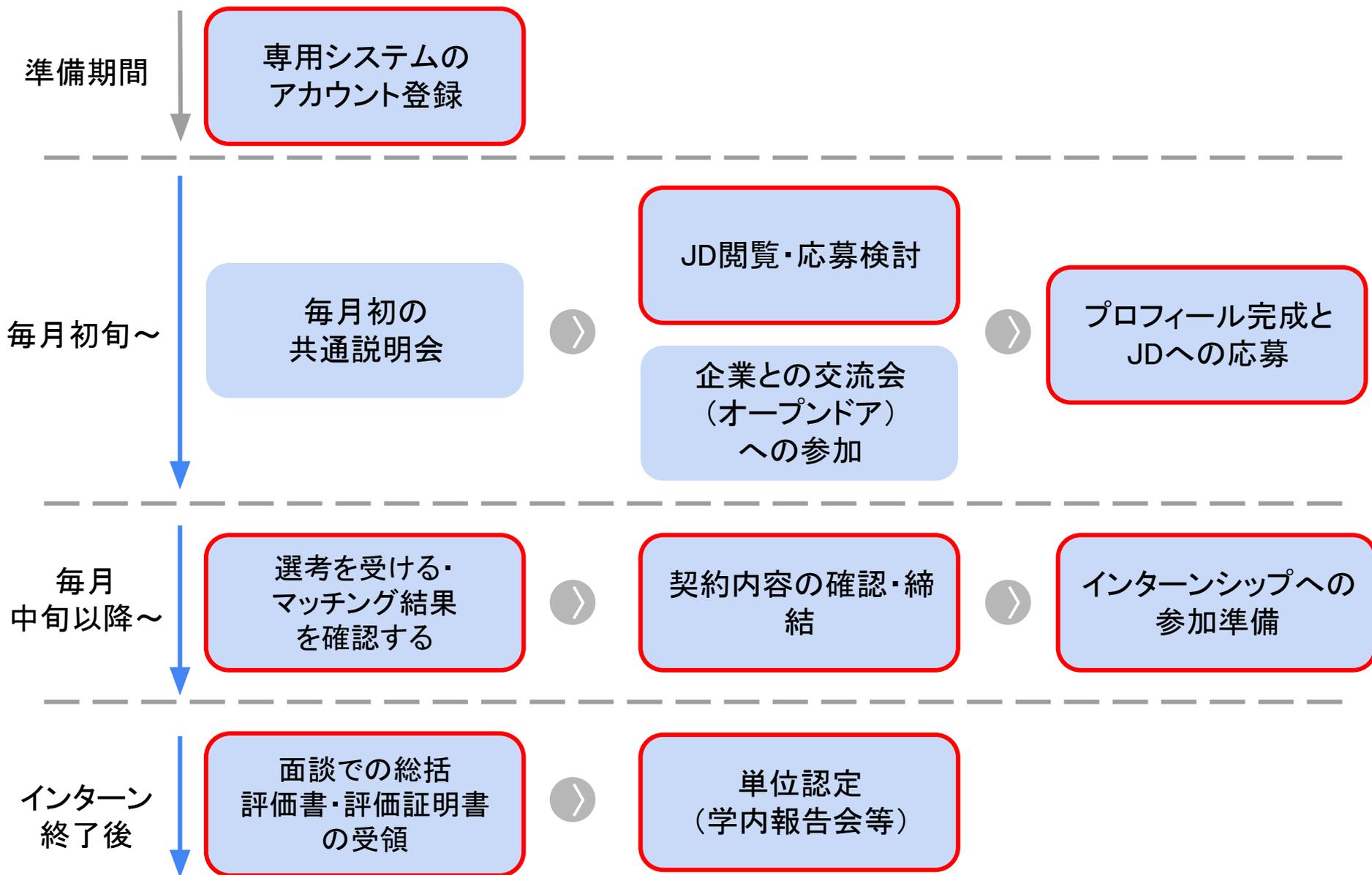
- 安全性やリスク分析に関する知識が深まり、将来のキャリアプランに関連する業界の研究者の労働条件を非常によく理解することができました。
- メンターの方はとても親切でした。プロジェクトの詳細について、ドメイン（研究分野）の知識と技術的な側面の両方について、辛抱強く説明して頂きました。また、産業研究者としての経験も教えていただき、産業研究者の気持ちがより理解できました。



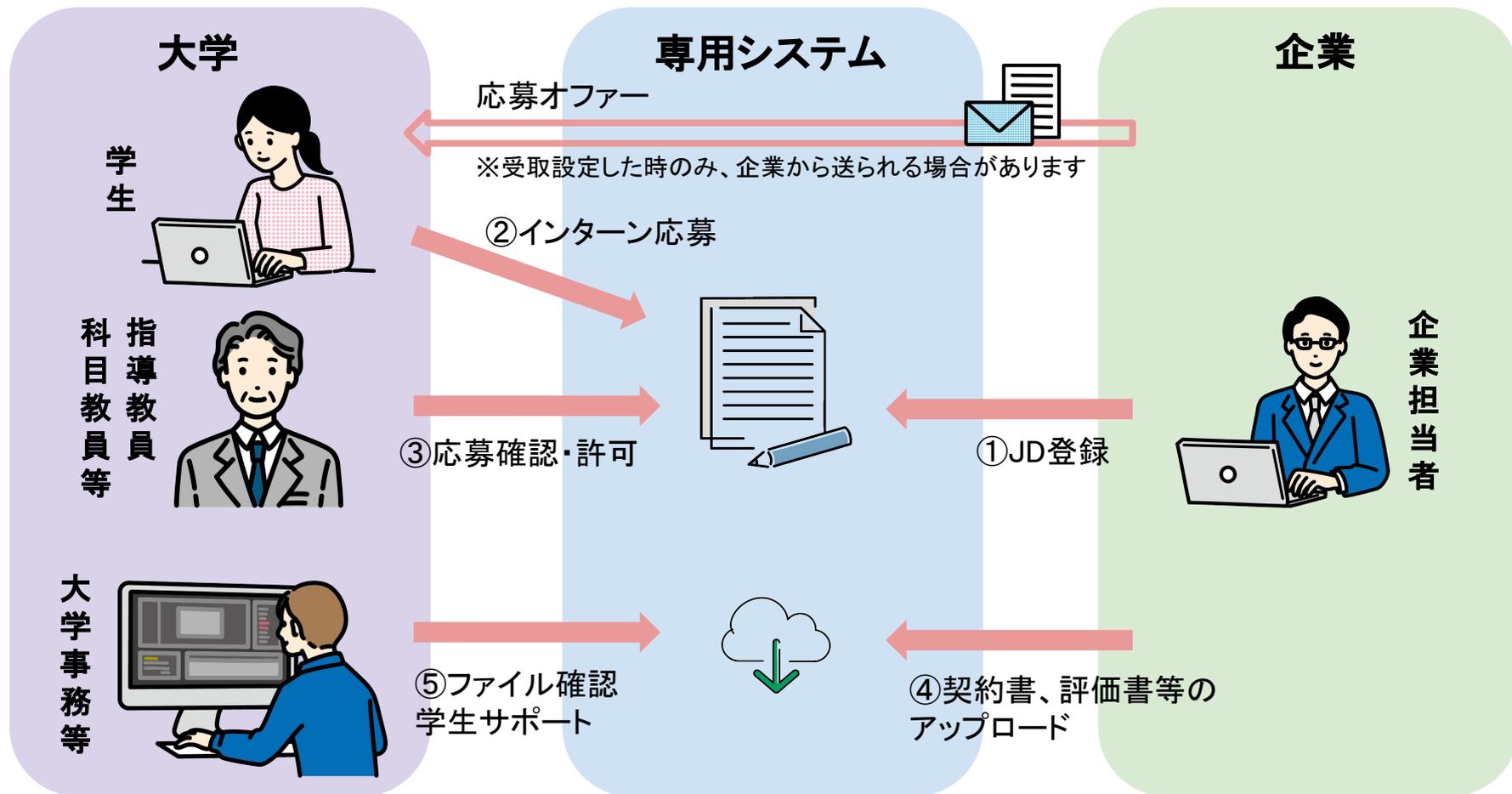
「ジョブ型研究インターンシップ」 の進め方



学生参加の流れ（概略） ※赤枠は学生全員に発生する事項



専用システムでのマッチングについて

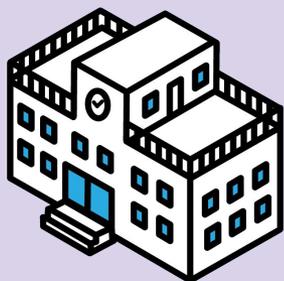


ジョブ型研究インターンシップ（直接雇用型）のマッチングは、専用システムにて行われます。本システムは協議会参画団体に所属する方のみ登録可能となっており、マッチングについてのやり取りをシステム上にて行うことが可能です。

ジョブ型研究インターンシップにおける契約締結

企業・学生間に加えて、企業・大学間でも契約を結びます。

大学



企業



インターンシップ実施契約

※大学の、学生に対する指導責任とその指導内容
を取り決める。企業-大学間の秘密保持契約には該
当しない。

学生



雇用契約

(秘密保持契約、誓約書等を含む)

企業-学生間だけでなく、企業-大学間でもインターンシップの実施契約を締結します。
各JDに契約についての考え方が記載されています。要望についてはあらかじめご調整ください。

マッチングにあたって指導教員の先生へのお願い

ジョブ型研究インターンシップへ学生が快く参加できるよう、指導教員の先生方にはぜひご協力いただきたいと考えております。

- 学生への周知方法

- 毎月初説明会の周知
- リーフレットの共有

→各大学（部局）のジョブ型研究インターンシップ担当者に配布

マッチングにあたって指導教員の先生へのお願い

所属学生からの相談がありましたらぜひアドバイスやご対応をお願いします。

- 学生が参加する上での助言
 - 応募先の選び方の助言
 - 数年後の進路についての助言(アカデミア、産業界を問わず)
- 学位取得との両立への不安・相談対応
 - 博士課程での研究活動が続く中でいつ参加すればいいのか？、学生からの相談への対応
- 研究室の秘匿情報・知財情報の範囲についての指導
 - 基本的には利用しない前提だが、外部に出してはいけない範囲はどこまでなのか、あらかじめ指導



よくある質問

Q. 民間企業への就職を希望する人向けですか？

ジョブ型研究インターンシップは実践力を養成するための大学院教育の一環として行われる教育プログラムのため、民間企業就職の希望によらず、ご参加をお勧めします。

もちろん、インターンシップ先からの内定提示といった事例もあり、就職活動にも役立ちます。

Q. どうしても外せない研究業務があるが、2ヶ月フル参加が前提ですか？

受け入れ先企業と調整が可能です。

(例) 実際に実施したインターンシップの就業形態

- ・期間は3か月間で週3日勤務
- ・基本フルタイムだが研究室で外せない用事があるときに休暇取得

Q. 遠方の場合の費用負担は？

企業負担となることが多いです。応募前はジョブディスクリプションの諸手当の欄をご確認ください。

(記載例)交通費、実費支給、宿泊が必要な場合は1万円/泊まで支給
明記されていない場合、マッチング面談時にご確認ください。

Q. どんなインターンシップ募集がありますか？

時期によって様々なインターンシップ募集があります。

学内のジョブ型研究インターンシップ担当に配布している募集一覧をご確認ください。

事前に詳細を確認したい場合、「教職員用のジョブディスクリプション閲覧アカウント」が利用可能です。

Q. 留学生の参加はできますか？

可能です。

実際のマッチングでは一定以上の日本語能力が必要になる場合がありますが、留学生のマッチング事例もあります。

また、事務局からの説明会は日本語・英語両方で開催しています。

質疑応答



お問い合わせ先

ジョブ型研究インターンシップについて、制度全般についてのご不明点や、学生からの質問などがありましたら以下へお問い合わせください。

【お問い合わせメールアドレス】

ジョブ型研究インターンシップ推進協議会

事務局(マッチング支援機関)

株式会社アカリク

university-coopj@acaric.co.jp